



京都府の財政状況と 経営改革の取組

令和7年10月



京都府

目次



■ 京都府の概要	2
■ 起債運営	8
■ 府政ビジョン	12
■ 京都府の財政状況と府政改革への取組	14



京都府の概要



京都府広報監
まゆまろ

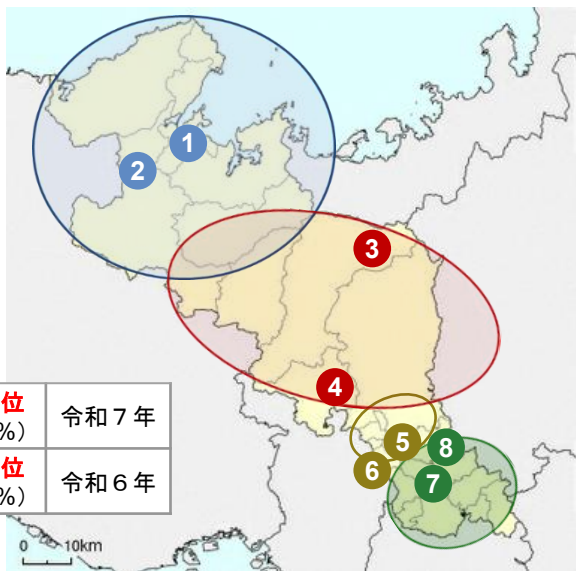
京都府の概要

- 京都府の人口や経済の規模は都道府県で概ね10位台前半に位置し、全国でも比較的規模の大きな団体です。
- また、古都京都の文化財や日本三景の一つである天橋立をはじめ、歴史・文化・自然・景観など多くの歴史資源・観光資源を有するとともに、都道府県魅力度ランキングでは全国2位の実績を有しており、日本国内における自治体としての知名度・人気度は高いものとなっております。

京都府の基本データ

都道府県魅力度ランキング	55.6ポイント	全国2位	令和6年度
面積	4,612km ²	全国31位	令和7年
人口	258万人	全国13位	令和2年
府内総生産	10兆9,052億円	全国13位	令和3年度
1人当たり府民所得	302万円	全国20位	令和3年度
製造業付加価値額	2兆4,668億円	全国16位	令和5年
大学数(人口10万人あたり)	1.34校	全国1位	令和5年度

都道府県魅力度ランキング（出所）：株式会社ブランド総合研究所



国指定重要文化財数	2,222件	全国2位 (16.5%)	令和7年
歴史的風土保存区域	8,513ha	全国1位 (42.4%)	令和6年



「海の京都」



1 天橋立 (日本三景)

- 何千年もの歳月をかけて自然が作りだした神秘的造形
- 多数の日本百選にも選ばれている日本三景の一つ



2 丹後ちりめん街道 (日本遺産)

- 約300年にわたって丹後ちりめんを織り続けてきた地
- 伝統的な建物や職人文化を感じることができる



「森の京都」



3 京都丹波高原国定公園

- 原生的な自然を有した、希少な動物種の生息地
- 日本海と京都を結ぶ多くの街道が通っており、自然と文化が融合した地域



4 保津川下り

- 亀岡市から京都市の名勝嵐山までの約16kmを川下りする
- 長岡京時代から行われており、長い歴史を持つ



「竹の里・乙訓」



5 竹の径

- 美しい日本の歩きたくなる道500選にも選ばれる癒やしの名所
- 風がおこす笹音や香りを楽しむ散策路



6 長岡天満宮

- 学問の神様として有名な菅原道真公がご祭神
- 樹齢約170年のキリシマツツジの回廊は息を飲む美しさ



「お茶の京都」



7 石寺の茶畑 (日本遺産)

- 急傾斜の山の上にも美しい茶畑が広がる
- 府指定の景観資産第1号として知られる観光名所



8 平等院 (世界遺産・国宝)

- 藤原頼通により開かれた寺院
- 阿弥陀如来坐像が安置された御堂は10円硬貨にも描かれている

交通ネットワーク

- 名神、新名神高速道路、JR東海道新幹線など東西方向の大動脈に加え、大阪空港から約55分、関西国際空港から約75分と基幹空港からの高いアクセス性を有しており、物流における利便性の高さを活かすことで、日本国の経済基盤の一翼を担っております。

京都府の交通ネットワーク



自然災害等に対する対策

- 京都府では、自然災害をはじめ、あらゆる危機事象に迅速・的確に対応できるよう、令和6年3月に常設の危機管理センターを開設しました。
- 風水害や地震などの大きな災害の発生に備え、災害の予防や災害が発生した場合の応急対策及び復旧対策を行うため、府や国の機関、市町村、消防関係機関、公共機関などで構成する京都府防災会議において、「京都府地域防災計画」を作成しております。

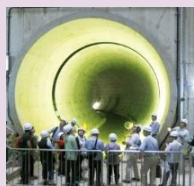
地震・災害時孤立・原子力災害対策

- 危機管理センターには、あらゆる危機事象に迅速・的確に対応するため、大規模地震等の発生時に**空撮映像をリアルタイムで収集する映像情報システム**を導入したほか、関係機関からの派遣職員が活動する**オペレーションルーム**等を配備しております。
- 地震被害の軽減・抑止を図るため、市町村や防災関係機関、府民、企業等と連携し、「**京都府戦略的地震防災対策指針**」を策定しています。
- 南海トラフ地震の発生の可能性が高まる中、施設の**耐震化率向上**をはじめ、従来の対策を超える**徹底した地震防災対策**に取り組みます。
- 災害時に孤立する可能性が高い地域の府民の安心・安全を守るため、**広域防災活動拠点である京都舞鶴港及び孤立の可能性が高い地域に大型ヘリが着陸できるヘリポートを整備**します。
- 高浜発電所及び大飯発電所の30km圏内に在住する府民の安全を確保するべく、**国に安全確保対策を強く要請**するとともに、**避難手段の確保や情報提供、さらにはモニタリング体制**などを整備し、原子力災害に備えています。



風水害・土砂災害対策

- 京都府では豪雨や台風被害の教訓を活かし、**河川の改修や貯水池の整備**、さらには府民の**避難マニュアルや河川防災情報サイト**の作成などを進めてきました。
- **大野ダムをはじめとするダムや農業用ため池において、利水者協力のもと事前放流を行い**、洪水被害を防止・軽減させます。
- 砂防えん堤などの対策工事をはじめとする**ハードの対策**と、雨量観測などの情報収集や土砂災害に関する情報提供などの**ソフト対策**を積極的に推進しています。



いろは呑龍(どんりゅう)トンネル
浸水被害に悩まされてきた、京都市、向日市、長岡京市地域の浸水対策として、整備を進めている。
これまでの浸水被害軽減効果は延べ約3000戸(推定値)にのぼる。



危機管理型水位計
リアルタイムで水位情報を提供し、円滑な住民避難に役立てている。

土石流対策
土石流による土砂流出を抑えたり、砂防えん堤や流路工などを整備



京都府マルチ
ハザード情報提供システム
住所を入力すれば、その場所の土砂災害に関する危険性などをピンポイントかつ複合的に知ることができる。



「京都力」を活かした特色ある産業構造

- 京都府経済は、建都1200年の歴史と文化を土台とした「観光産業」と「伝統産業」、伝統産業の優れた技術に新たな知恵を加えて発展した「ハイテク産業」など、京都ならではの高付加価値の産業構造に強みがあります。
- さらに、平成31年3月にオープンした京都経済センターを核として、創業から経営相談、人材育成などのワンストップ支援体制を構築しています。

西陣織	京漆器	京友禅
京仏壇	京焼・清水焼	丹後ちりめん

etc.

■ 丹後ちりめん
「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」が「日本遺産(JapanHeritage)」に認定(H29.4.28)

「京焼・清水焼」の焼成技術
セラミック・コンデンサ、人工歯

「西陣織」の絹糸精練加工技術
界面活性剤・高分子薬剤

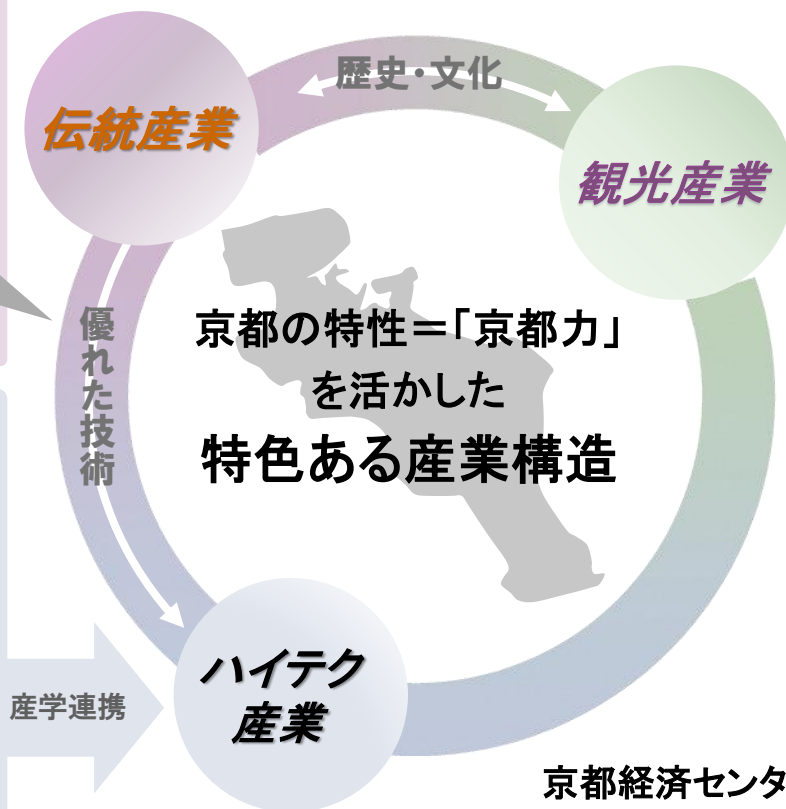
■ 大学・研究機関の集積

- 府内に7国公立大学と27私立大学(人口あたりの学生数・大学数とも全国1位)
- 理化学研究所が、関西文化学術研究都市にiPS創薬拠点を設置

×

オムロン (京都市)	任天堂 (京都市・宇治市に工場)
京セラ (京都市)	堀場製作所 (京都市)
島津製作所 (京都市)	村田製作所 (長岡京市)
ニデック (京都市)	SCREEN (京都市)

etc.



～万博等を機に京都観光を新たなステージへ～
「京都府観光総合戦略」を改定(R5.7)

●「交流」と「持続性」の2つを基本理念

●推進する重点プロジェクト例

- ・大阪・関西万博きょうとアクションプラン フラッグシップ・アクション
- ・川の恵みを生かした広域周遊プロジェクト
- ・京都学生・観光プロジェクト(仮称)

美しい自然

- | | |
|-----|------------------|
| 府北部 | 日本三景・天橋立や世界ジオパーク |
| 府中部 | 芦生の森や丹波高地の里地・里山 |
| 府南部 | 宇治茶の茶畑景観 etc. |

京都経済センター

- 京都の経済団体等が集結し、様々な知恵が融合した新たな価値を生み出す「交流と融合」の場を提供
- 「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立し、幅広い機関と連携した支援体制を強化
- リカレント教育やキャリア相談を行う生涯現役クリエイティブセンターを開設



高付加価値を創造する企業群



- 京都府の製造業は、「京都ならではの」高い技術力に支えられ、ハイテク分野をはじめとした多彩な分野・品目で全国トップクラスのシェアを占めています。
- また、独自の技術を有する高収益の優良企業も多く、京都府の法人課税所得金額は全国第6位となっています。

京都府が出荷額で上位の主な品目			
分野	品目	出荷金額	全国順位
ハイテク・研究器具	公害計測器	111億円(26%)	2位
	材料試験機	167億円(45%)	1位
	医療用X線装置	220億円(17%)	2位
	工業計器	590億円(20%)	1位
伝統工芸	既製和服・帯	97億円(54%)	1位
	ちりめん類	30億円(92%)	1位
	紋紙(ジャカード・カート)	7億円(48%)	1位
	宗教用具	55億円(16%)	1位
飲食料品	清酒(濁酒を含む)	485億円(12%)	2位
	味りん(本直しを含む)	77億円(25%)	2位
	緑茶(仕上茶)	321億円(14%)	2位

(出所)総務省・経済産業省「2024年経済構造実態調査」、()内は全国シェア

都道府県別の法人課税所得金額				
順位	都道府県	課税所得金額(百万円)	法人数	順位
1	東京	32,764,310	643,908	1
2	大阪	6,354,565	254,759	2
3	愛知	4,319,299	167,837	4
4	神奈川	2,482,583	189,333	3
5	兵庫	1,476,288	108,774	9
6	京都	1,422,180	62,725	12
7	福岡	1,409,811	111,296	8
8	埼玉	1,288,703	139,770	5
9	北海道	1,239,172	118,692	6
10	千葉	1,177,226	113,395	7
11	静岡	974,252	75,189	10
12	広島	965,265	62,793	11
13	岐阜	563,569	43,045	16
14	長野	554,822	44,682	14
15	宮城	523,630	44,480	15

課税所得金額
法人数
6位 ↔ 12位

(出所)国税庁「統計年報」(令和元～令和5年度の平均)

起債運営



京都府広報監
まゆまろ

京都府の起債運営の特徴

- 京都府では、投資家の皆様の御意見・御要望を踏まえて、起債運営に反映させるなど、市場との対話を重視した起債運営を行っております。

シ団方式で発行する 公募公債は原則3の倍数月 (6月、9月、12月、3月) に発行します

- 5年債、10年債については年間の資金計画策定の一助となるよう、発行月を特定しております。
- 発行回数についても、府債の購入機会増加の御要望を頂き、発行回数を増加させております。
- 令和7年度については、9月、12月、3月の発行を予定しております。(※変更する可能性もあります)

個別投資家訪問を 積極的に行っております

- 京都府の財政状況等について、より多くの投資家の皆様に御理解を頂くため、積極的な個別IRを実施しております。

商品性の改善を 積極的に行っております

- 投資家の皆様からの御要望を踏まえ、新たな発行形態や年限の導入を常に検討しております。

- 平成25年度にフレックス枠を新設し、投資家の皆様の御意見・御要望やその時々々の市場環境を踏まえた機動的な起債運営を実施してきました。

- 今後も投資家の皆様との対話を重視した起債運営を実施いたします。

令和4年度以降の主幹事方式起債履歴

単位: 億円	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
5年		100	150	70	100	
10年	100					100
20年						
20年定時償還	100	80		80	50	50
30年定時償還						



発行実績及び本年度計画



- 令和6年度は、フレックス枠を活用し、4月に5年債と20年定時償還債、10月に10年債と20年定時償還債を発行しました。また、四半期ごとの5年・10年債のほか、グリーン共同債を発行（11月、3月）しました。
- 令和7年度は、10月にフレックス枠を活用した10年定時償還債と20年定時償還債を発行予定であるほか、グリーン共同債（12月、3月）の発行を予定しております。

〈令和6年度〉	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債	100	100				100			100			100	500
10年債			100			100	100		100			100	500
20年債	50 (定時償還)	(フレックス枠)					50 (定時償還)	(フレックス枠)					100
30年債													0
共同発行債	100	150			50		100	180				20	600
合計	250	150	200		50	200	250	180	200			220	1,700

(グリーン共同債)

〈令和7年度〉	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債						100			100			100	300
10年債						100	50 (定時償還)		100			100	300+ フレックス分
20年債							50 (定時償還)	(フレックス枠)					フレックス分
30年債													0
共同発行債	100	150		100				170	10			20	550
合計	100	150		100		200	100	170	210			220	1,250

(グリーン共同債)

(御参考) 京都府の過去の発行実績



- 前述の本府起債運営方針に則り、3月・6月・9月・12月の定例5年・10年債を発行しております。
- また、近年では、20年債や20年定時償還債など、多様な年限を発行しております。

年度	条件決定日	回号	発行額 (億円)	年限	利回り (%)	払込日	満期日	発行価格 (円)
R5	4月13日	R5-1	150	5	0.299	2023/4/24	2028/4/24	100.00
	6月2日	R5-2	100	5	0.220	2023/6/16	2028/6/16	100.00
	6月2日	R5-3	100	10	0.666	2023/6/16	2033/6/16	100.00
	8月3日	R5-4	100	20	1.339	2023/8/15	2043/8/14	100.00
	9月6日	R5-5	100	5	0.354	2023/9/20	2028/9/20	100.00
	9月6日	R5-6	100	10	0.767	2023/9/20	2033/9/20	100.00
	10月6日	R5-7	70	5	0.433	2023/10/18	2028/10/18	100.00
	10月6日	R5-8	80	20(定時)	1.077	2023/10/18	2043/10/16	100.00
	12月6日	R5-9	100	5	0.359	2023/12/19	2028/12/19	100.00
	12月6日	R5-10	100	10	0.778	2023/12/19	2033/12/19	100.00
	3月6日	R5-11	100	5	0.443	2024/3/19	2029/3/19	100.00
	3月6日	R5-12	100	10	0.817	2024/3/19	2034/3/17	100.00

年度	条件決定日	回号	発行額 (億円)	年限	利回り (%)	払込日	満期日	発行価格 (円)
R6	4月5日	R6-1	100	5	0.482	2024/4/16	2029/4/16	100.00
	4月5日	R6-2	50	20(定時)	1.071	2024/4/16	2044/4/15	100.00
	6月5日	R6-3	100	5	0.658	2024/6/18	2029/6/18	100.00
	6月5日	R6-4	100	10	1.110	2024/6/18	2034/6/16	100.00
	9月4日	R6-5	100	5	0.625	2024/9/18	2029/9/18	100.00
	9月4日	R6-6	100	10	1.061	2024/9/18	2034/9/15	100.00
	10月9日	R6-7	100	10	1.038	2024/10/21	2034/10/20	100.00
	10月9日	R6-8	50	20(定時)	1.205	2024/10/21	2044/10/21	100.00
	12月4日	R6-9	100	5	0.834	2024/12/17	2029/12/17	100.00
	12月4日	R6-10	100	10	1.197	2024/12/17	2034/12/15	100.00
	3月5日	R6-11	100	5	1.151	2025/3/18	2030/3/18	100.00
	3月5日	R6-12	100	10	1.522	2025/3/18	2035/3/16	100.00



府政ビジョン



京都府広報監
まゆまる

京都府総合計画

- 京都府の行政運営の指針となる「京都府総合計画」を令和4年12月議会での議決を経て改定しました。
- 京都府がめざす方向性について、概ね20年後を展望し、実現したい将来像を理念的に示す「将来構想」、概ね4年間の具体方策を示す「基本計画」及び「地域振興計画」によって構成されています。

京都府総合計画の概要

将来構想	20年後に実現したい 京都府の将来像	一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざして
	4つの姿	① 人と地域の絆を大切にする共生の京都府 ② 文化の力を継承し新たな価値を創造する京都府 ③ 豊かな産業と交流を創造する京都府 ④ 環境と共生し安心・安全が実現できる京都府
基本計画	8つのビジョンと 基盤整備	「将来構想」で掲げた将来像の実現に向けた8つのビジョン ① 安心できる健康・医療・福祉の実現 ② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現 ③ 子育て環境日本一・京都の実現 ④ 誰もが活躍できる生涯現役・共生京都の実現 ⑤ 共生による環境先進地・京都の実現 ⑥ 未来を拓く京都産業の実現 ⑦ 文化の力で世界に貢献する京都の実現 ⑧ 交流と連携による活力ある京都の実現
	8つの広域連携 プロジェクト	府全域で連携して相互に施策効果を高めていく8つの広域連携プロジェクト ① 産業・物流広域連携プロジェクト ② 環境広域連携プロジェクト ③ 文化・スポーツ広域連携プロジェクト ④ 観光・交流広域連携プロジェクト ⑤ 京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクト ⑥ 南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト ⑦ 京都府南部イノベーションベルト 広域連携プロジェクト ⑧ グレーターけいはんな広域連携プロジェクト
	分野別基本施策	20分野ごとに「2040年に実現したい姿」を示し、「現状分析・課題」「4年間の対応方向・具体方策」「数値目標」により目標達成に向けた方向性や手段を体系的に明らかにしています
	地域振興計画	山城地域振興計画 ～個性豊かなそれぞれのエリアが魅力を輝かせ、つながり、更に発展する山城地域～ 南丹地域振興計画 ～来てよし・観てよし・住んでよし 交流人口・関係人口1,000万人超の賑わいと活気のある京都丹波～ 中丹地域振興計画 ～心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を楽しみ、海・里山・まちを舞台に 求める暮らしが実現できる地域を～ 丹後地域振興計画 ～安心して「元氣」に住み続けることができ、希望が持て夢が実現できる丹後地域～

文化庁が京都に移転！（明治維新以来初の中央省庁の移転が実現）

- 政府の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、文化庁の京都への全面移転が決定。
平成29年度から、文化庁の組織として「地域文化創生本部」を設置し、本格移転の準備を進めてきました。
- また、平成29年7月25日に開催された文化庁移転協議会において、文化庁の移転先が現京都府警察本部本館に決定され、令和5年3月27日から京都での業務を開始しました。



京都府の財政状況と 府政改革への取組



京都府広報監
まゆまろ

京都府の財政改革の取組



財政健全化指針 (平成11年度～15年度)	目標額 650億円 に対して 677億円 の収支改善を達成
経営改革プラン (平成16年度～20年度)	目標額 500億円 に対して 597億円 の収支改善を達成
府民満足 最大化プラン (平成21年度～25年度)	目標額 600億円 に対して 781億円 の収支改善を達成 ■ 依然厳しい収支見通しのなか、人材・資金・施設等の限られた財産を府民満足の一点に集中 ■ 府債残高(臨時財政対策債を除く)を平成25年度末に減少させる目標を達成
府民満足最大化・ 京都力結集プラン (平成26年度～30年度)	目標額 400億円 に対して 668億円 の収支改善を達成 ■ 府民サービスのワンストップ化の推進など、サービスの質の向上を目指した「連携・協働型府政」を推進 ■ 持続可能な財政構造を確立するため、必要な社会資本への投資等により地域経済を活性化させることで税収増を目指し、社会資本ストックを形成している府債残高と税収などの返済資金との適正なバランスを実現
行財政改革プラン (令和元年度～5年度)	目標額 400億円 に対して約 420億円 の収支改善を達成 ■ 各部局が主体的に効果や優先順位を踏まえた事業の再構築を進める「新陳代謝促進プログラム」の導入 ■ 未利用地の売却やネーミングライツによる歳入確保と国費等の財源確保
行財政 運営方針 (令和6年度～10年度)	■ 次世代型の行政手法への転換 - ー 生産性の高い業務推進体制を確立するとともに働き方改革やオフィス改革等の取組を推進 ■ 持続可能な財政構造の確立 - ー 施策の新陳代謝や重点化を図るとともにふるさと納税やクラウドファンディング等を活用し、多角的な財源確保に向けた取組を推進 ■ 現場課題対応型の組織体制の確立と人材育成 - ー 本庁、広域振興局及び地域機関の組織見直しを進めるとともに、時間外勤務縮減やハラスメントの未然防止等を推進 →効果的・効率的な府政運営を進め、約300億円の収支改善を見込む



特徴的な府の施策①(子育て環境日本一に向けた取組)

- 「子育てにやさしい社会」は全ての世代にとっても暮らしやすい社会との認識のもとに施策を推進。
- 「社会で子どもを育てる京都」の実現に向けて、出会い・結婚から妊娠、出産、子育て、教育、就労に至るまで切れ目のない支援を実施。

子育ての楽しさ広げる事業

風土づくり

R7年度当初予算:21百万円

京都サンガがアンバサダーとなり、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」子ども“ええ顔”発信事業」を実施

- ・子育て世帯とサンガ選手が交流できるスポーツ教室の開催(予定)
- ・保育ルームを併設した「WEラブ赤ちゃんシート」の提供(予定) 等

子どもの自主性・自立性を育むとともに、「子育ては楽しいもの」というポジティブなイメージを広げるため、京都版ミニ・ミュンヘンを実施

- ・大学生や若者のサポートのもと、子どもたちだけの仮設のまちをつくり、子どもたち自身が、通貨や税金、まちのルールを決め、選挙によって市長を選び、まちを運営する取組。



子育てにやさしいまちづくり事業

まちづくり

R7年度当初予算:62百万円

「まち全体で子どもを見守り支える」まちづくりを進めるため、市町村がエリア内で策定する「子育てにやさしいまちづくり推進計画」をハード・ソフト一体で支援



子育てにやさしい職場づくり事業

環境づくり

R7年度当初予算:73百万円

子育てしやすい職場づくり → 企業価値の高まり → 多様な働き方と人材確保の好循環を生み出し、社会全体で子育てを支える環境を構築。

- ① 子育て企業サポートチームが延べ2.5万社訪問(目標)、②企業による「行動宣言」の推進 ※約2,600社(R7.1末時点)
- ③ 「行動宣言」を実践に移すための様々な支援制度 ※専門家チームの派遣、多様な働き方推進補助金による支援等



特徴的な府の施策②(大阪・関西万博を機とした文化の発信)

- 大阪・関西万博に係る取組のうち、広域的に実施するものや多様な主体と連携した取組については、「大阪・関西万博フラグシップアクション」と位置づけ、万博を機に京都の文化の力を世界に発信。

京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業費

フラグシップ・アクション

R7年度当初予算:159百万円

京都駅に降り立った人に、京都の文化や芸術を感じていただき、**府内各地の取り組みを知っていただくことで、府域への誘客を推進**



きょうとまるごとお茶の博覧会開催費

フラグシップ・アクション

R7年度当初予算:82百万円

万博を契機に京都を訪れる国内外の人々に**京都の茶文化を発信**

- 茶人やお茶の生産者等と一緒に茶会や体験イベントを開催(北野天満宮 等)(4月～)
- 府内の小中高生と万博参加国でお茶を通じた国際交流を実施



和食と世界の食サミット開催事業費

フラグシップ・アクション

R7年度当初予算:52百万円

海外と和食の料理人による料理実演(京都で実施)を万博会場で中継するほか、「京都食の博覧会」では、これまで継承されてきた京料理や食材など、**府内各地の食の魅力をコンテンツに誘客を図り、世界に向け発信**



Music Fusion in Kyoto

フラグシップ・アクション

R7年度当初予算:94百万円

万博を契機に室内楽コンサート等を府内各地で実施し、音楽が日常を彩る京都を創出



特徴的な府の施策③(未来を拓く京都産業の実現)

- 未来を拓く京都産業の実現に向け、半導体産業の推進やスタートアップ・エコシステムを拡充

府市連携による次世代半導体産業の推進

R7年度当初予算:15百万円

京都市との連携による「(仮称)京都半導体バレー構想」の実現に向け、京都を舞台に、半導体で飛躍したい世界企業やスタートアップ企業などが集まり、新たな技術開発や製品が生み出されるエリアへの成長を目指す

京都企業のビジネス機会を拡大し、国内外へのプレゼンス強化を図るため、

- ①半導体関連が学会のイベント「VLSIシンポジウム2025」と連動した京都企業セッションの実施
- ②「SEMICON TAIWAN」への京都パビリオンの初出展、トッププロモーションの実施



日本最大級の国際スタートアップ・カンファレンス「IVS」の京都開催

R7年度当初予算:84百万円

特徴1. アジア最大級の影響力

セッション250、スピーカー700、サイドイベント100、約20のサイドイベント等の併催など、**アジアNo.1の影響力を持つプラットフォーム**。(R6実績:参加者12,400名、うち海外1,900名、学生1,300名)



特徴2. 「KYOTO STAGE & AREA」の設置

京都のスタートアップ企業やエコシステムを世界に発信するためのゾーンを設置。

スタートアップ企業や京都の先端シーズの発表、京都に根付く精神性に関するセッション等を実施。



特徴3. 国際ピッチコンテスト「IVS LAUNCHPAD」優勝者に「京都府賞」を授与

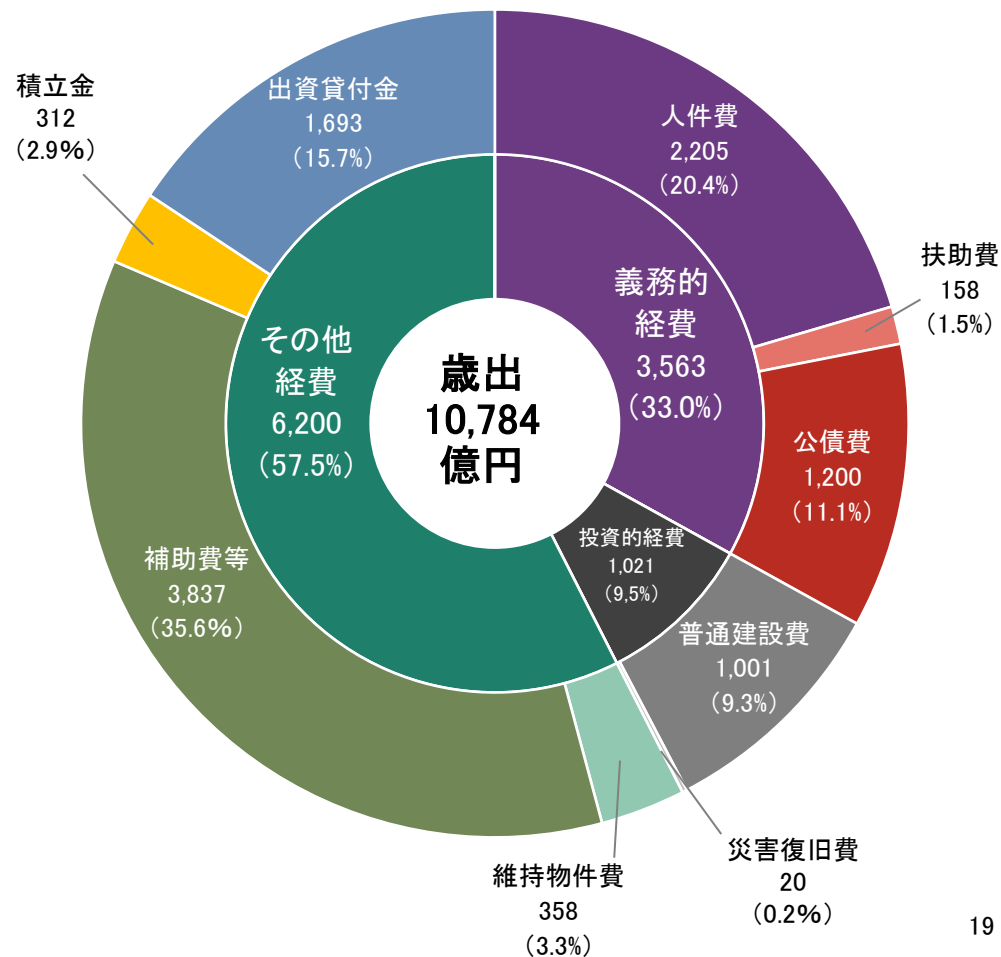
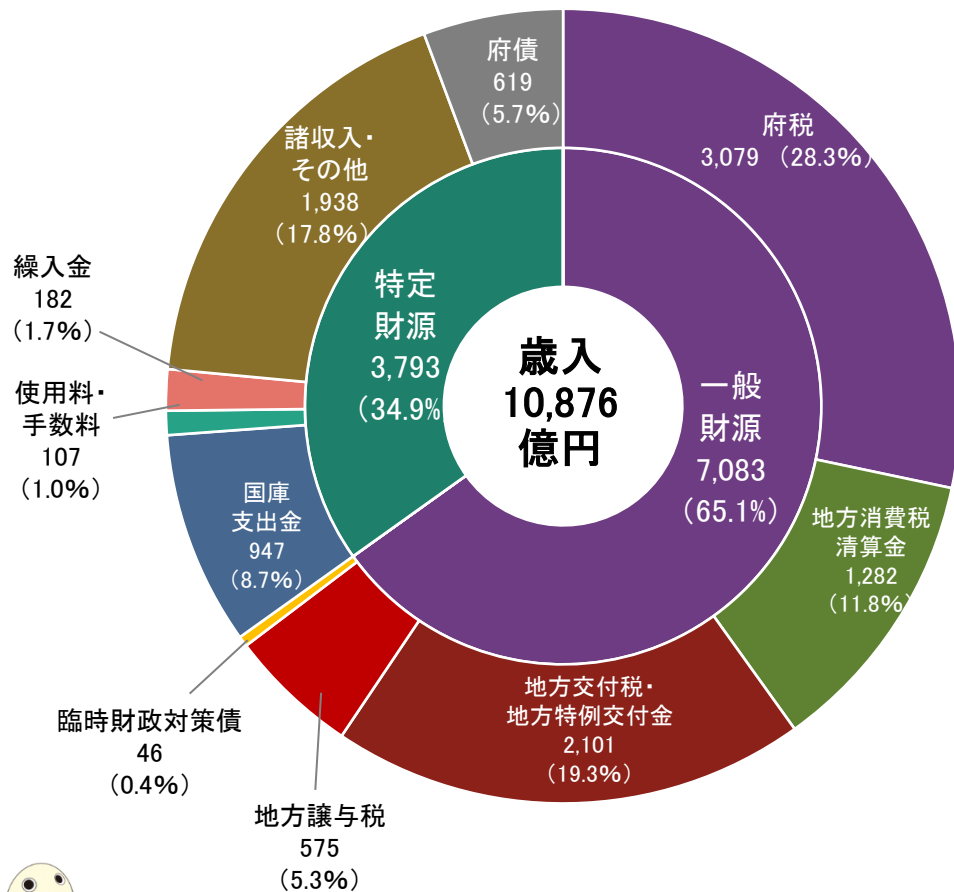
京都のエコシステムの発信とスタートアップ企業の京都への集積を促進するため、**国際スタートアップアワード「スタートアップ京都国際賞」を創設し、受賞企業に最大1,000万円を支援。**



一般会計歳入・歳出決算の構成

- 令和6年度は引き続き、長引く物価高騰対策等のために、1兆円超の決算規模(5年連続)となりました。
- 物価高騰対策については、国庫支出金等の財源を最大限活用し、一般財源比率は6割以上を確保しております。

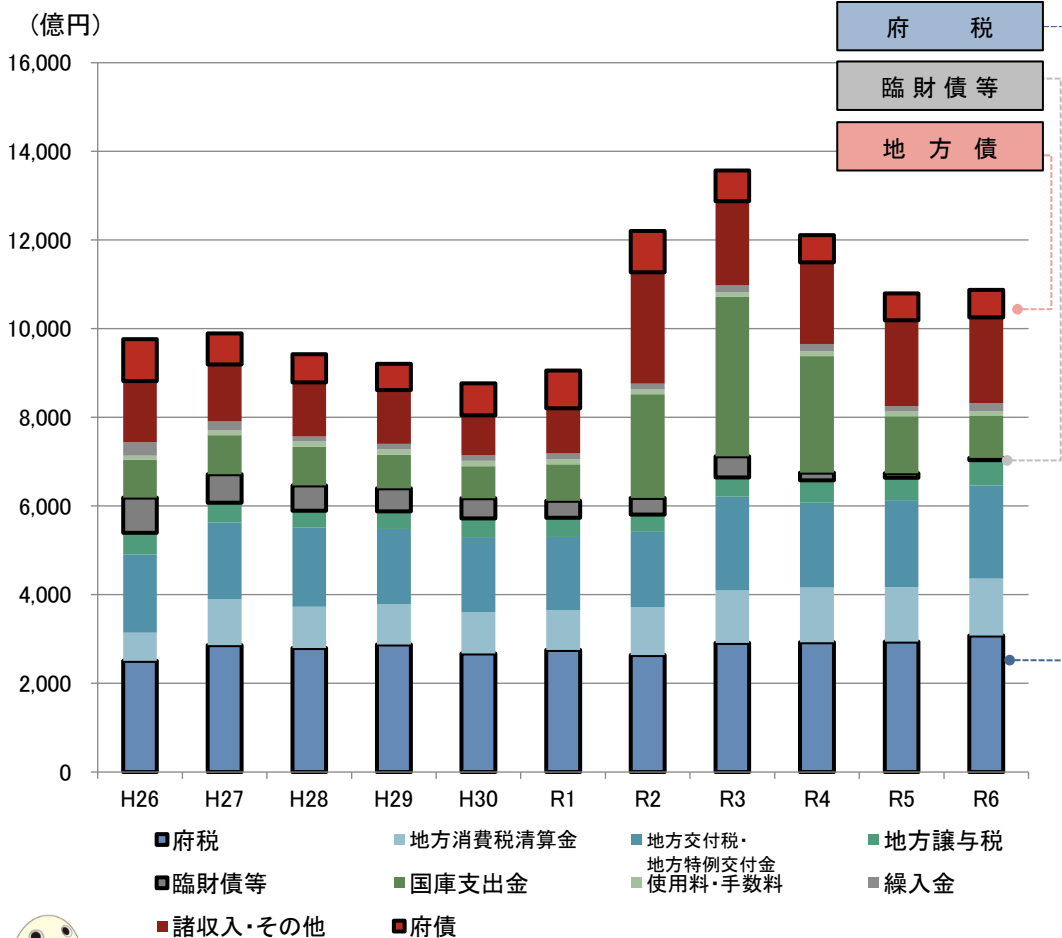
令和6年度一般会計決算



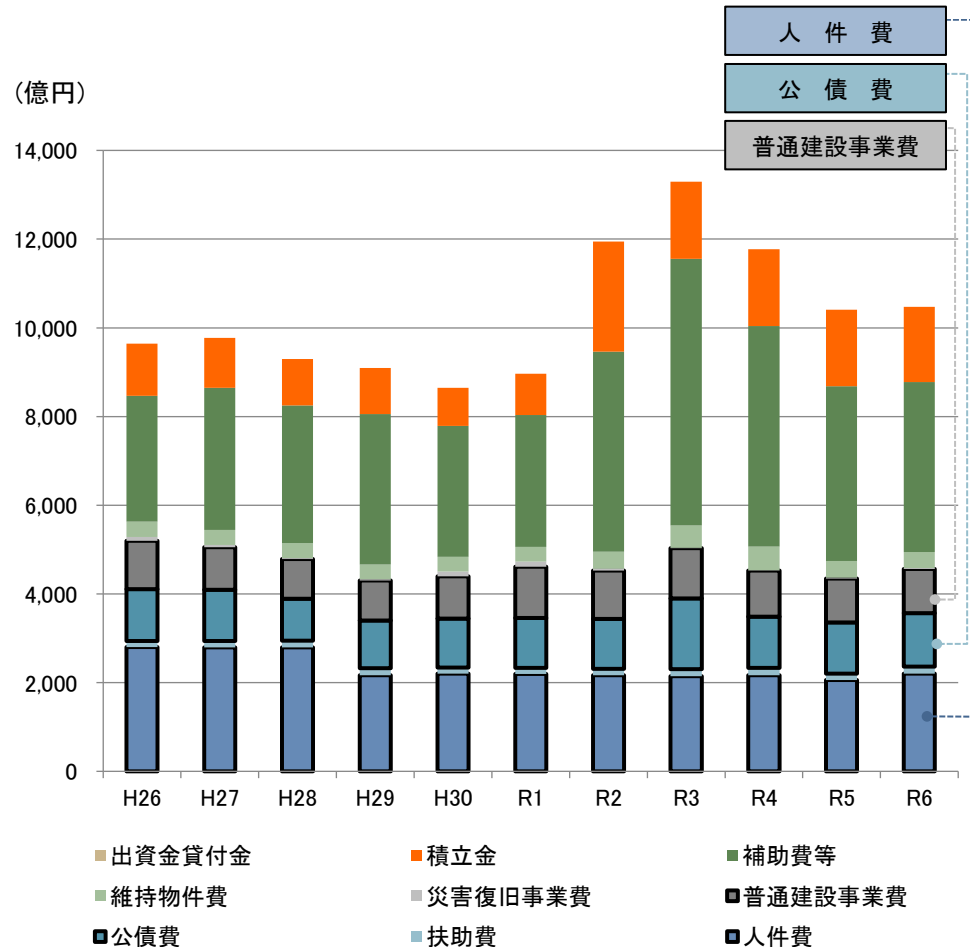
一般会計歳入・歳出決算の推移

- 令和6年度は長引く物価高騰対策等のために、1兆円超の決算規模(5年連続)となりました。
- 社会資本への投資等については、府債残高と税収などの返済資金とのバランスに配慮しています。
- 人件費は圧縮傾向を維持しており、また、公債費は年度により一定の増減はあるものの、概ね1,100億円程度で推移しています。

歳入決算額の推移



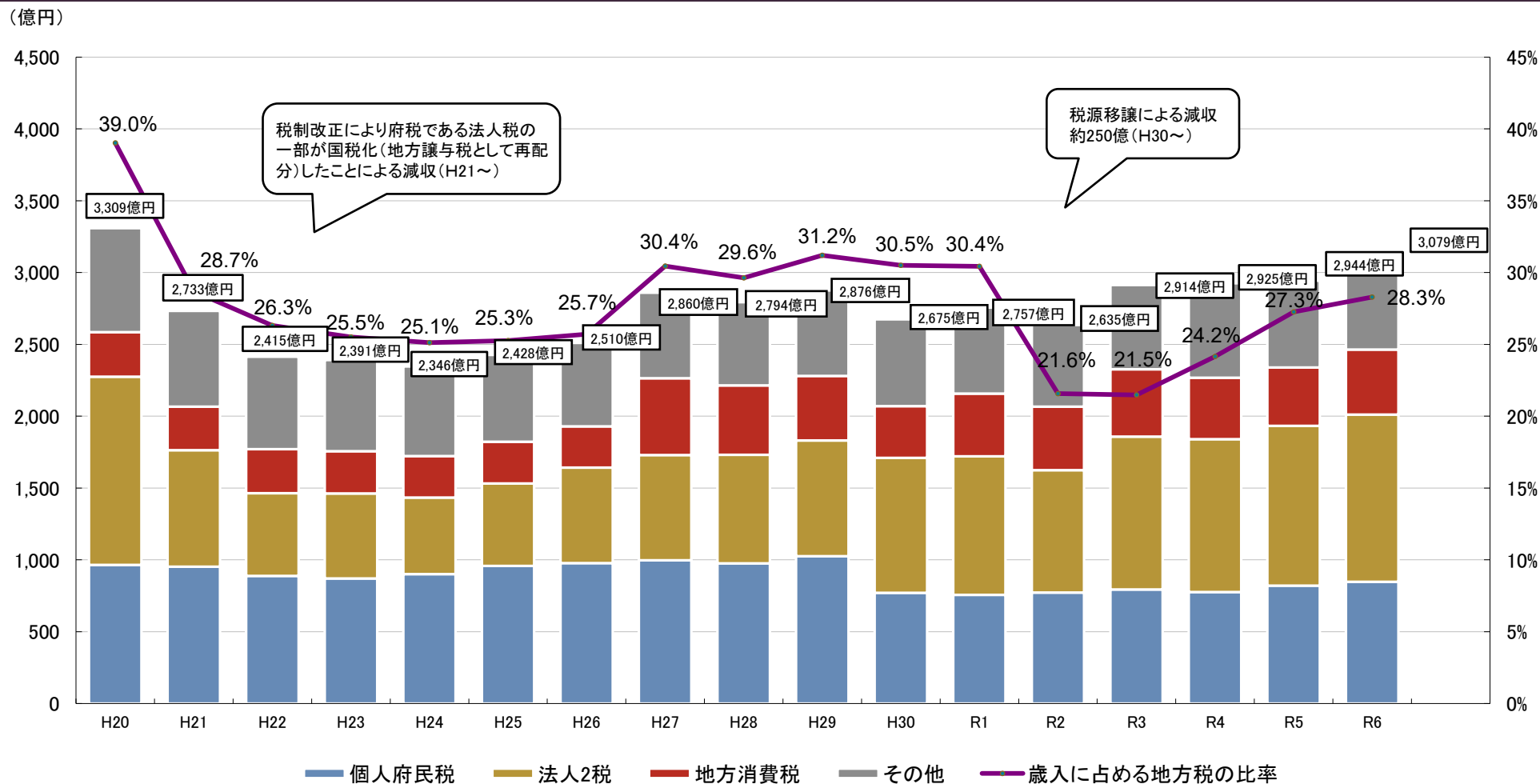
歳出決算額の推移



府税収入の状況

- 令和5年度に引き続き、企業業績の回復により、法人2税が増収となるなど、総額は約135億円増の約3,079億円になりました。
- 特別法人事業譲与税を含めた場合には、過去最大の収入となります。
- 今後の税収については、足元の京都経済が、個人消費の持ち直しや観光関連の需要の増加などにより緩やかに回復している状況にあるものの、長引く物価高騰に加え、アメリカの関税政策や為替などの動向が税収を大きく左右する可能性があることから、引き続き状況を注視していく必要があります。

府税決算の推移



健全化4指標・財政力指数の状況

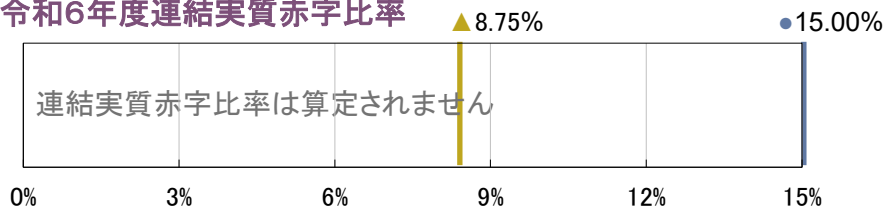
- 健全化4指標についてはいずれも財政再生基準、早期健全化基準を大幅に下回る値となっています。
- また、財政力指数は全国平均を上回る数字で推移しており、本府の財政状況の堅調性を表しております。

令和6年度一般会計決算

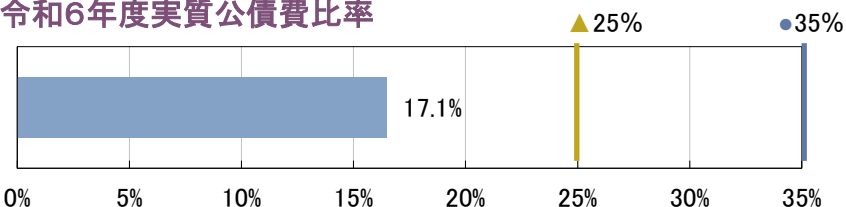
令和6年度実質赤字比率



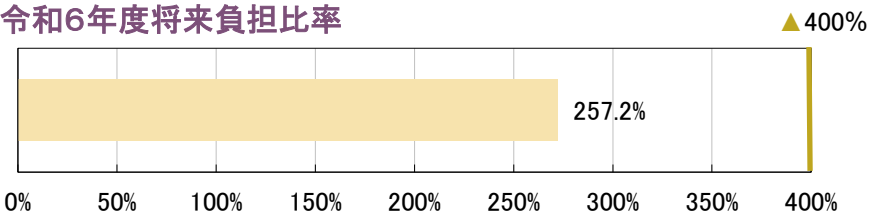
令和6年度連結実質赤字比率



令和6年度実質公債費比率



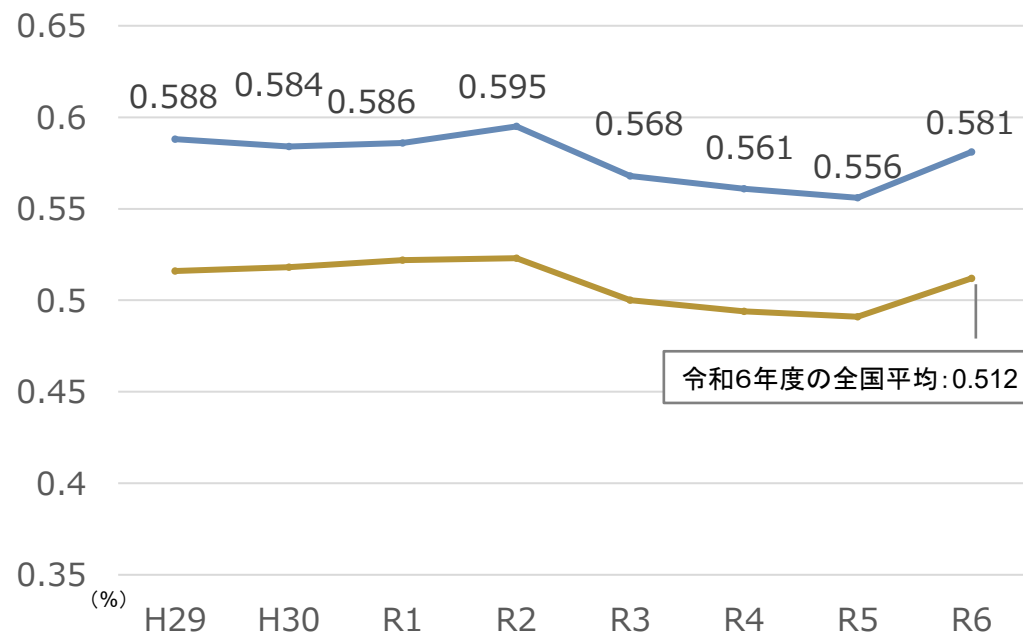
令和6年度将来負担比率



▲ 早期健全化基準 ● 財政再生基準

※将来負担比率基準（▲）については早期健全化基準のみ。

財政力指数の推移



財政力指数とは

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言える指数

問い合わせ先



京都府総務部財政課 資金係

電話 075-414-4415

FAX 075-441-7308

課長補佐兼係長 早川 千裕

c-hayakawa55@pref.kyoto.lg.jp

主 事 山本 晃正

t-yamamoto45@pref.kyoto.lg.jp

財政課URL <http://www.pref.kyoto.jp/zaisei/index.html>



京都府広報監 まゆまる